

## 第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組実績・進捗状況（No.1）

重点取組	生涯を通じた健康づくり対策
目標	生活習慣病予防など地域での健康づくり対策を推進し、住民が生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域社会を目指します。
実施主体	市町、保健所、医療保険者、医師会、食生活改善推進員 等

## 市町

## 【鴻巣市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	特定健康診査受診者数 8,605人 特定保健指導実施者 180人 糖尿病性腎症重症化予防事業の保健指導実施者29人	生活習慣病を早期発見、重症化予防を目標に特定健診受診率60%・特定保健指導実施率60%を目標に受診を勧奨する。	特定健診受診者数 5,261人 特定保健指導実施者数 0人 (新型コロナウイルス感染症の影響により2月から開始のため)
② 食育の推進	令和元年度食育講演会を実施 テーマ「最期まで口から食べられるまちづくり」申込者数 77人  男性料理教室を実施  2日間コース 3回 のべ61人	新型コロナウイルス感染拡大のため中止  全6回中1回は新型コロナウイルス感染拡大のため中止	令和2年度食育講演会 テーマ「食べて動いて元気になろう」申込者数47人 令和3年1月18日実施予定→緊急事態宣言のため中止 男性料理教室 1月2月合計4日間計画していたが緊急事態宣言のため中止
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	特定健康診査未受診者に勧奨通知及び電話による勧奨を実施 特定健診受診プレゼントキャンペーンを実施  健康づくりセミナーを実施 食・運動・歯科など総合的に健康づくりを学べる講座を実施 4日間コース 参加延べ人数43人	特定健康診査の受診促進を図る必要がある。	特定健康診査未受診者に勧奨通知を発送 特定健診受診プレゼントキャンペーンは新型コロナウイルス感染症の影響により中止  健康づくりセミナーを実施 延べ46人が参加 定員を20名→15名に減らして実施。
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。 小中学校16校 1757人に実施。	他の学校行事との日程調整が困難なことがある。	小学校5校 434人に実施。 新型コロナウイルス感染症の影響により6校で中止

⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	地域包括支援センター（5箇所）でネットワーク会議開催（計8回）。生活支援体制整備事業による第1層・2層支え合い推進会議（1層3回、2層8回）	連携のため、参加を求めても、職種・所属により、会議の参加が難しい所がある。	地域包括支援センター（5箇所）でネットワーク会議を開催。計5回 第1層・2層支え合い推進会議（1層1回）
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	食生活改善推進員定例会で会員に健康に関する講話と調理実習を実施 5回 150人参加  介護予防リーダー養成講座7名、のすっこ体操サポーター養成講座6名新規登録。	調理実習中心なので接触を避けることが難しい。新型コロナウイルス感染症対応中は試食を取りやめるなどの工夫が必要。 ボランティアの数が減少している。	食生活改善推進員定例会で会員に健康に関する講話と調理実習を実施定例会3回 29人参加 参加人数を減らして実施した。 介護予防リーダー養成講座を7月後半に実施し、9名新規登録。のすっこ体操サポーター養成講座は、5月前半～7月前半を予定していたが、新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止。
⑦ 被保護者健康管理支援事業における生活習慣病予防の推進	生活保護受給者の医療費分析 平成30年4月～平成31年3月診療分のデータを調査、分析し、医療扶助適正化と被保護者の健康課題を把握した。	・頻回受診、重複受診、治療中断者等の受診行動適正化の指導が必要である。 ・生活習慣病の重症化しやすい方の保健指導が必要である。	鴻巣市被保護者健康管理支援事業の方針、計画等の策定

## 【上尾市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診受診率：45.9%</li> <li>・ 特定保健指導修了率：7.9%</li> <li>・ 糖尿病の重症化リスクの高い医療機関未受診者や受診中断者に対する受診勧奨：対象者180人 医療機関受診者数24人</li> <li>・ 糖尿病性腎症のハイリスク者に対し保健指導を実施：対象者237人 修了者数26人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40～50歳代の健診受診率の向上</li> <li>・ 特定保健指導未利用者への勧奨</li> <li>・ 糖尿病重症化予防の保健指導利用率の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度の特定健診及び特定保健指導の受診率等は未確定</li> <li>・ 重症化予防保健指導対象者数：38人 修了者数2人</li> <li>・ 受診勧奨対象者：163人</li> <li>・ 効果検証は未実施 (NTTデータ進捗状況報告より)</li> </ul>
② 食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内連携会議の実施、推進状況等を共有（会議、調査各1回）</li> <li>・ 食生活改善推進員による市民への地区伝達講習（調理を伴う講話）の実施（6テーマ36回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 密な協力関係の構築</li> <li>・ 食生活改善推進員の高齢化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内連携会議の実施（会議1回）</li> <li>・ 食生活改善推進員による市民への地区伝達講習（調理を伴う講話）の実施（4テーマ6回）</li> </ul>
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	動いて楽しく脱メタボ塾 22回延119人、食事でむりなく脱メトボ塾 6回延15人	特に運動教室は、参加者の固定化及び高齢者の比率高い	いずれも名称変更を行った。コロナ禍のため、定員削減又は中止の対応。

④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	市ホームページ及び広報あげお3月号に記事を掲載。	具体的にどのような対策をすべきか難しい。	市ホームページ及び広報あげお3月号に記事を掲載。
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	関係課（保険年金課・高齢介護課・健康増進課）による庁内連携会議を開催	・関係課との情報連携 ・医療専門職の確保	・庁内連携会議、作業部会の開催 ・基本方針の策定

## 【桶川市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症 化予防等の充実	特定健診受診率：48% 特定保健指導利用率：7.7% (法定報告)	特定保健指導利用率が低い。	特定健診は6月～12月11日で終了。特定保健指導は感染対策を行い個別で実施中。
② 食育の推進	子どものための食育料理教室、幼児食料理教室、子育て支援料理教室、児童館こども料理教室を実施。計130名参加。	参加者を増加させるために、事業内容および実施回数等を充実させる必要がある。	市ホームページに親子でつくるおやつレシピの配信。 家庭菜園を推進する「プランター菜園」事業を実施。9組の親子が参加。
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	30代健康診査後、メタボリックシンドローム予防のための個別保健指導を実施。対象者55名のうち、19名参加。	対象者の個別保健指導参加率を向上させる必要がある。	30代健康診査後、メタボリックシンドローム予防のための個別保健指導を実施。対象者36名のうち、17名参加。
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	小学校5、6年生を対象に防煙健康教室を実施。4校、584名参加。	成人を対象にした啓発が必要。	小学校5、6年生を対象に防煙健康教室を実施。2校、344名参加。
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	A：全高齢者を対象に、介護予防に関する活動の普及啓発のために、歯科衛生士や介護予防運動指導員、管理栄養士を講師とし、運動、栄養、口腔等の介護予防教室を実施。 参加者数 延3,401人 B：「健康長寿いきいきポイント事業」を実施。 高齢者の閉じこもりや孤立化を防ぐため、特定健診・がん検診、介護予防教室、介護予防・健康講座、社会参加・生涯学習、地域のサロン等の様々な対象事業に参加した際にポイントを付与し、貯まったポイント数に応じて記念品と交換ができる事業を実施。 登録者数 実2,062人。 C：「通いの場 100歳体操」の支援。地域において地域の自主的な取組によって介護予防を進めてもらうため、100歳体操の普及を図り、専門職を派遣する等、立ち上げの支援を実施。また、定期的に理学療法士や地域包括支援センターと連携し、活動の支援を実施。 市の支援団体22団体（うち新規3団体）		A：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、介護予防教室をR2.4～6月中止。教室の内容も変更し、栄養の講話は行わず。 参加人数 延1,566人 B：登録者数 実1,958人 C：支援団体22団体。

<p>⑥ 健康づくり支援のための人材育成</p>	<p>A：桶川市健康づくり市民会議健康づくりサポーター養成講座を開催。全6回コース。延べ249名参加。</p> <p>B：「介護予防サポーター養成講座」通いの場100歳体操の指導者の育成の教室を開催。 参加者数 延55人</p>	<p>A：養成講座修了後、継続的に地域の健康づくり支援のために活動できる人材を増やす必要がある。</p>	<p>A：桶川市健康づくり市民会議健康づくりサポーター養成講座を開催。1回コース。48名参加。</p> <p>B：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回のみ開催。 参加者数 延46人</p>
--------------------------	--	--	--

## 【北本市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
<p>① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診者数 4,889人</li> <li>特定保健指導終了者数 77人</li> <li>糖尿病性腎症重症化予防保健指導実施者数 19人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病対策のため、特定健診の受診率60%を目標に受診を勧奨する。</li> <li>生活習慣病対策のため、特定保健指導の利用率60%を目標に利用勧奨する。</li> <li>糖尿病性腎症重症化予防のため、保健指導実施者数の向上を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診者数 3,649人</li> <li>特定保健指導初回面接実施者数 30人</li> <li>糖尿病性腎症重症化予防保健指導初回面接実施者数 12人</li> </ul>
<p>② 食育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子料理室3回 96人</li> <li>めざせ！毎日1万歩運動における栄養教室4回 100人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健衛生部門と学校との連携を強化する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子料理室は3回実施予定だったが、未実施</li> <li>めざせ！毎日1万歩運動における栄養教室は4回実施予定だったが、未実施 (いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)</li> </ul>
	<p>【健康診査等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診査 107人</li> <li>肝炎ウイルス検診 403人</li> <li>胸部レントゲン検査 7,829人</li> <li>胃がんリスク検診 791人</li> <li>30代までの健康力アップ健診（女性）285人</li> <li>歯科健康診査 235人</li> <li>【集団がん健診】15日間実施</li> <li>胃がん 1,338人</li> <li>肺がん 1,399人</li> <li>大腸がん 1,676人</li> <li>乳がん 1,143人</li> <li>子宮がん 978人</li> <li>【個別がん検診】</li> <li>大腸がん 6～9月、11・12月実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健（検）診率の向上を図る。</li> <li>要精密検査が適切に医療につながるよう、受診勧奨及び受診結果に努める。</li> <li>対象者に対して事業周知方法の検討が必要である。</li> </ul>	<p>【健康診査等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診査 101人</li> <li>肝炎ウイルス検診 362人</li> <li>胸部レントゲン検査 7,545人</li> <li>胃がんリスク検診 90人</li> <li>30代までの健康力アップ健診（女性）115人</li> <li>歯科健康診査 208人</li> <li>集団がん健診】15日間実施</li> <li>胃がん 1,110人</li> <li>肺がん 1,135人</li> <li>大腸がん 1,319人</li> <li>乳がん 1,143人</li> <li>子宮がん 582人</li> <li>【個別がん検診】</li> <li>大腸がん 6～9月、11・12月実施</li> </ul>

<p>③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化</p>	<p>4,218人  ・乳がん 10～2月 37人  ・子宮がん 10～12月 420人  ・前立腺がん 6～9月 850人  【教室・相談事業】  ・糖尿病予防教室 4日間実施 27人  ・糖尿病予防教室フォローアップ事業 8日間実施 7人  ・他機関依頼講座 4日間実施 99人  ・30代までの健康力アップ健診（女性）事後講座 2日間実施 17人  ・成人健康相談 随時実施 525人（実人数205人）  ・歯科相談 3日間実施 10人  ・8020よい歯のコンクール 1日実施 22人。  【スポーツ健康事業】  ・めざせ！毎日1万歩運動 1,706人  ・運動実技教室（ラジオ体操講習会）2回 130人  ・埼玉県コバトン健康マイレージ 113人  ・健康増進体操教室 4回 359人  ・健康スタンプ事業 359人</p>		<p>4,532人  ・乳がん 実施中 17人  ・子宮がん 10～12月 403人  ・前立腺がん 6～9月 850人  【教室・相談事業】  ・糖尿病予防教室（個別相談対応予定）  ・糖尿病予防教室フォローアップ事業 3日間実施 35人  ・30代までの健康力アップ健診（女性）事後講座 1日間実施 4人  ・成人健康相談 随時実施 323人（実人数205人）  【スポーツ健康事業】  ・めざせ！毎日1万歩運動 1,725人  ・運動実技教室（ラジオ体操講習会）1回 30人  ・埼玉県コバトン健康マイレージ 161人  ・健康増進体操教室、健康スタンプ事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>
<p>④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進</p>	<p>・妊娠届時の禁煙指導、リーフレット配布  ・健康長寿サポーター養成講座  2日間実施 40人</p>	<p>・関心が薄い対象者に対するアプローチについて検討する必要がある。</p>	<p>・妊娠届時の禁煙指導、リーフレット配布  ・健康長寿サポーター養成講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>
<p>⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携</p>	<p>自立支援型地域ケア会議を中央型で7月から月1回開催した。3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>	<p>高齢者の自立支援・介護予防の観点から多職種の助言を得て、高齢者支援の取組と連携について検討を継続する。</p>	<p>月1回の会議を企画していたが、令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止している。</p>
<p>⑥ 健康づくり支援のための人材育成</p>	<p>・介護予防活動等研修会を1回開催、参加者42人  ・イキイキとまちゃん体操活動支援 延べ51回  養成したサポーターによる地域活動グループが6か所立ちあがった。</p>	<p>運営スタッフの支援を含め既存の活動団体の介護予防活動の支援を行い活性化につながっているため、継続していく。</p>	<p>昨年同様に事業を企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業を中止した。同様の理由により、住民主体の介護予防等活動団体自体が活動を中止しているところが多いため、運営スタッフの支援の一環として、希望を募り活動再開支援を実施。7か所実施した。</p>

【伊奈町】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	・特定健診受診率 54.2% ・特定保健指導参加率 7.7% ・糖尿病性腎症重症化予防対策事業保健指導参加者数 13名	特定健診の受診率は県内1位であるが、特定保健指導・糖尿病性腎症重症化予防対策事業への参加率が非常に低いため、その向上のための取組が必要である。	・特定健診受診率 40.1% ・特定保健指導参加者数 17名 ・糖尿病性腎症重症化予防対策事業保健指導参加者数 9名
② 食育の推進	食生活改善推進協議会による料理教室・町文化祭における健康食の紹介	協議会メンバーの高齢化	コロナウィルスの影響でイベント中止
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	特定保健指導時における直接指導 指導者13名	特定保健指導参加率の低迷	特定保健指導参加者数 17名
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	健康増進法の一部改正に基づく公共施設の禁煙防止対策の実施及びポスター掲示等による制度周知	公共施設外（例 共同住宅等）における受動喫煙対策	町HP、広報等を活用した制度周知を実施
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	町内行政区を中心とした「健康長寿教室」の開催 1か所計28名	実施地区の固定化、受講者数の減少	コロナウィルスの影響で開催なし
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	健康長寿サポーターの養成 対象者 28名	受講対象者数の減少	コロナウィルスの影響で開催なし

医師会

【北足立郡市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	・「肥満糖尿病患者に行動変容をもたらすための外科治療と薬物療法」、「糖尿病運動療法 Up-to-Date」、「糖尿病性神経障害の診療と治療—現状と展望—」の講演会の実施。	・糖尿病患者は精神疾患有病率が高く体重減少治療のリバウンドの可能性が高い。	・「慢性腎臓病患者の新たな糖尿病治療戦略～心腎連関を断ち切るために～」の講演会の実施。

## 【上尾市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症 化予防等の充実	上尾市との業務委託契約により実施 ・ 特定健診受診率：45.9% ・ 特定保健指導終了率：7.9% ・ 医療機関受診者数24人	・ 特定保健指導を実施する医療機関が少ない。 ・ 検診実施 62 医療機関 保健指導実施 17 医療機関 ・ 保健指導実施率を上げるためにも実施医療機関を増やす必要がある。	・ 令和2年度の特定健診及び特定保健指導の受診率等は未確定
④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進	喫煙外来による治療 ・ 医療機関数 18医療機関	・ 啓発	
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	地域包括ケアシステム推進協議会 ・ 3回開催		

## 歯科医師会

## 【北足立郡市歯科医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
② 食育の推進	お口の健康まつりの中で食育クイズを実施 6月2日開催 食育クイズ 115名参加		
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	お口の健康まつり開催 6月2日開催 730名参加		
⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携	口腔ケア研修会の開催 8月21日開催 52名参加		

## 薬剤師会

### 【鴻巣市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	4/14市民セミナー(鴻巣市共催) 参加者140名 11/14鴻巣市健康まつり 糖尿病簡易測定 100名 お薬相談 23名	単年の開催に留めず、継続する事で市民意識の向上 糖尿病早期発見・受診勧奨を目的で実施、受診対象者8割を受診に繋げた実績から一定の効果は収めたと思われる	4月の市民セミナー計画もコロナで中止 12月の鴻巣市健康まつり計画もコロナで中止

### 【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	・生活習慣病重症化予防対策事業受講 8月31日 ・健康まつりの開催 11月10日	・地域住民への重症化予防の啓発を図る必要あり ・地域住民への配布資料内容の充実を図る	・単年でなく継続支援の実施を行う。 ・コロナのため中止（健康まつり、ロコモ普及研修会）
⑥ 健康づくり支援のための人材育成	・アレルギー週間市民講座開催：市、医師会との後援 2月1日 ・健康づくり推進協議会委員として参画 7月23日	・市民への開催通知方法の改善 ・人材育成計画への提言	・ロコモ研修会中止 ・健康づくり推進協議会への継続参加 2月3日

### 【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	令和元年11月3日「薬物乱用防止・薬と健康キャンペーン」 血管年齢測定、249人 骨密度測定、250人 体組成の測定、200人 握力測定 250人 血圧測定、健康相談250人 アルコールパッチテスト200人	毎年楽しみにしている方が多くいますのでより広いスペースでより多くの方に対応出来たらと思います。	コロナ禍のため開催できませんでした。



### 【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	令和元年11月3日「薬物乱用防止・薬と健康キャンペーン」 血管年齢測定、249人 骨密度測定、250人 体組成の測定、200人 握力測定 250人 血圧測定、健康相談250人 アルコールパッチテスト200人	毎年楽しみにしている方が多くいますのでより広いスペースでより多くの方に対応出来たらと思います。	コロナ禍のため開催できませんでした。

### 【北本市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化	R1.11北本まつりでお薬相談 体脂肪率、血管年齢測定を実施 北本市薬剤師会15名 来場者約250名	測定機器の選択 測定機器の手配	コロナ禍の為 北本まつり中止(未実施)

### 保健所

### 【鴻巣保健所】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 特定健診及び特定保健指導受診率の向上並びに特定保健指導及び糖尿病重症化予防等の充実	保健指導実務者研修会の企画 3月4日開催予定  新型コロナの影響で中止	集合型研修の実施が困難。 新たな情報提供の方法の検討、習得が必要。	二次医療圏単位の対策会議の実施（書面開催） 3月予定
② 食育の推進	①栄養成分表示講習会の開催 3月5日開催 17名参加 ②栄養関係団体支援 総会 1回 16名参加 研修会1回 57名参加 講義 2回 計22名参加	栄養・健康づくりについての情報提供の場として研修会・講習会の充実を図る必要がある。	栄養関係団体支援 会議1回 8名参加 講義1回 5名参加

<p>③ 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化</p>	<p>①健康管理講話の開催 計2回 計34名参加 ②栄養関係団体支援 総会 1回 16名参加 研修会1回 57名参加 講義 2回 計22名参加</p>	<p>栄養・健康づくりについての情報提供の場として研修会・講習会の充実を図る必要がある。</p>	<p>栄養関係団体支援 会議1回 8名参加 講義1回 5名参加</p>
<p>④ 禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進</p>	<p>①埼玉県全面禁煙実施施設・空間分煙実施施設認証制度の認証（令和元年5月31日廃止） 計292施設 ②受動喫煙防止対策実施施設の認証 計22施設</p>	<p>禁煙対策・受動喫煙防止対策の推進をするにあたって、人員不足である。</p>	<p>受動喫煙防止対策実施施設の認証 計2施設</p>
<p>⑤ 高齢者等の健康づくりのための関係機関の連携</p>	<p>健康長寿サポーター養成講座の開催 計5回 65名参加</p>	<p>より多くの人に健康づくりについての情報提供を行うために、人材育成を行いその知識を地域に広めてもらう必要がある。</p>	<p>健康長寿サポーター養成講座の開催 9月23日開催 6名参加</p>
<p>⑥ 健康づくり支援のための人材育成</p>	<p>栄養関係団体支援 総会 1回 16名参加 研修会1回 57名参加 講義 2回 計22名参加</p>	<p>より多くの人に健康づくりについての情報提供を行うために、人材育成を行いその知識を地域に広めてもらう必要がある。</p>	<p>栄養関係団体支援 会議1回 8名参加 講義1回 5名参加</p>

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組実績・進捗状況（No.2）

重点取組	親と子の保健医療対策
目標	安心できる妊娠・出産・育児への支援及び子供たちが等しく愛護され、心身ともに健やかに育つ、親と子への一貫した保健医療対策を充実強化します。
実施主体	市町、児童相談所、学校、医師会、歯科医師会、保健所等

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	妊婦健康診査受診者数 延8,619人 乳幼児健康診査受診者数 2,076人（受診率98.8%） 5歳児健診・相談 30人	疾病・障がいの予防・早期発見・対応、虐待予防等の観点から、未受診者の把握、受診勧奨に努める。	妊婦健康診査受診者数 延6,026人 乳幼児健康診査受診者数 1,775人 5歳児健診・相談 24人
② 小児期の心の健やかな発達の促進	こどもの心の相談 56人 5歳児健診・相談 30人	就学に向け、教育支援センターとの連携はとれている。民間療育施設も増えているため、今後は施設との連携も必要と思われる。	こどもの心の相談 37人 5歳児健診・相談 24人
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	夏休み親子料理教室の開催 親子での料理経験を通して食の大切さを学ぶ 2日間4会場で実施 213人参加	申込方法が電話のみなので、WEB予約の導入を検討する必要がある。	休校に伴う夏休み短縮と感染拡大防止のため中止
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	小児救急電話相談番号を広報で毎月周知した。 年12回		小児救急電話相談番号を広報で毎月周知した。 年12回
⑤ 歯科保健医療対策の充実	市内保育施設において、年1～2回歯科検診を実施している。 また、施設によって歯磨き指導等を行っている。	保育所内の歯科衛生指導のみで充足しているかは不安。 保護者に口腔衛生に関する意識を高め、受診率100%を目指したい。	市内保育施設において、年1～2回歯科検診を実施している。 施設によって歯磨き指導等を行っている。
	妊婦歯科健康診査 202人（受診率28.4%） 1歳6か月児健康診査 731人（受診率98.8%） 3歳児健康診査 755人（受診率99.0%） ・歯科検診で発見された「う歯」に対する、医療券の発行（要保護及び準要保護児童生徒対象） 114枚発券	妊婦歯科健康診査の受診率35%を目標に受診を勧奨する。  ・他医療費助成制度（こども医療費助成、生活保護等）との重複。	妊婦歯科健康診査 136人 1歳6か月児健康診査 559人 3歳児健康診査 654人  ・歯科検診で発見された「う歯」に対する、医療券の発行（要保護及び準要保護児童生徒対象） 131枚発券

【上尾市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	4か月児健康診査 年22回実施 受診率96.1% 1歳6か月児健康診査 年22回実施 受診率94.9% 3歳児健康診査 年22回実施 受診率92.4% 10か月児健康相談 年11回実施 受相率43.7% 乳幼児健康相談 年11回実施 受相児数1,048人	健診未受診者への対応 新型コロナウイルス感染拡大による延期等で各健診、対象月齢が遅れている。	4か月児健康診査 年23回実施 受診率94.1% 1歳6か月児健康診査 年15回実施 受診率93.1% 3歳児健康診査 年17回実施 受診率91.9% 10か月児健康相談 年8回実施 受相率41.1% 乳幼児健康相談 年8回実施 受相児数685人
② 小児期の心の健やかな発達の促進	ことばの遅れや、行動に心配のある幼児に対して、心理・言語の専門スタッフによる、ことばとこころの相談を実施 ことばとこころの相談 年23回実施 受相児数360人	専門職（心理士、言語聴覚士等）の確保 就学へのつなぎ、関係機関との連携	ことばとこころの相談 年19回実施 受相児数279人
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進			
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	平日夜間及び休日急患診療所の開設（小児科患者数、平日夜間：463、休日：2,074）	土曜日に開設していない。	平日夜間及び休日急患診療所の開設（小児科患者数、平日夜間：82、休日：194）
⑤ 歯科保健医療対策の充実	歯科健診（プレママ教室）年5回実施 受診人数258人 フッ素塗布 年13回実施 塗布者数377人		歯科健診（プレママ教室）年4回実施 受診人数160人 フッ素塗布 年8回実施 塗布者数170人

【桶川市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	A：4か月児健診受診者422名 1歳6か月児健診受診者430名 3歳3か月児健診受診者472名 7・10か月児相談来所者787名 こんにちは赤ちゃん訪問事業把握率100%  B：こどもと家庭なんでも相談91件 いつも子育てメール相談4件	A：健診未受診者は面接や訪問で目視確認しているが、コロナで海外から帰国できない状況や複雑な家庭事情等により、把握が難しいケースが増えている。健診受診勧奨と未受診者の把握を継続していく必要がある。  B：H31年10月なんでも相談の実施を拡充（週2回→週5回）	A：4か月児健診受診者255名 1歳6か月児健診受診者358名 3歳3か月児健診受診者397名 7・10か月児相談来所者516名 こんにちは赤ちゃん訪問事業実施中。  B：こどもと家庭なんでも相談53件 いつも子育てメール相談13件

		メール相談で養育や虐待の心配があるケースは連携して支援をするが、そもそも個人が特定できない場合もある。	
② 小児期の心の健やかな発達の促進	すこやか相談の利用者6名	育児不安を抱える保護者は増えているが、相談対応できる臨床心理士は1名のみであり、今後の専門職の確保が難しい。	すこやか相談の利用者2名
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	親子食育料理教室 7月30日開催 26人参加	小・中学生向けの講座として、教室の内容の充実を図り継続していく必要がある。	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	救急電話相談（#7119）の案内を、毎月広報、ホームページに掲載し、周知を図った。 「こどもの救急ミニガイドブック」を生後1～2か月頃に配布し、正しい受診方法の普及啓発を行った。	今後も継続した周知・啓発活動が必要である。	救急電話相談（#7119）の案内を、毎月広報、ホームページに掲載し、周知を図っている。 「こどもの救急ミニガイドブック」を生後1～2か月頃に配布し、正しい受診方法の普及啓発を行っている。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	妊婦歯科健診を実施。受診者数112名。 1歳6か月児健診、3歳3か月児健診で歯科健診・歯科指導を実施。受診者数430名（1歳6か月児健診）、472名（3歳3か月児健診）。1歳6か月児健診後、フッ素塗布を実施。 受診者数256名。	妊婦歯科健診の受診率を向上させる必要がある。乳幼児に向けて、むし歯等の健康格差を縮小させる必要がある。	妊婦歯科健診、1歳6か月児健診と3歳3か月児健診での歯科健診・歯科指導、フッ素塗布を実施。

## 【北本市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	<b>【健康診査等】</b> ・妊娠届 378人 ・妊婦健康診査 4461人 ・乳児健康診査 22回 315人 ・1歳6か月児健康診査 22回 321人 ・3歳児健康診査 11回 378人 <b>【健康相談等】</b> ・利用者支援事業面接相談 延706人 ・利用者支援事業電話相談 延613人 ・産前サポート事業 20回 延7人 ・産後ケア事業 20回 延55人 ・マタニティセミナー 12回 116人 ・9か月児育児相談 22回 283人 ・乳幼児育児相談 11回 229人	・妊娠期、出産期、子育て期の切れ目ない支援ができるよう、関係機関との更なる連携を図る必要がある。	<b>【健康診査等】</b> ・妊娠届 241人 ・妊婦健康診査 3,085人 ・乳児健康診査 20回 306人 ・1歳6か月児健康診査 19回 275人 ・3歳児健康診査 10回 295人 <b>【健康相談等】</b> ・利用者支援事業面接相談 延513件 ・利用者支援事業電話相談 延609件 ・産前サポート事業 14回 延11人 ・産後ケア事業 14回 延45人 ・マタニティセミナー 12回 25人 ・9か月児育児相談 12回 57人 ・乳幼児育児相談 5回 55人
② 小児期の心の健やかな発達の促進	・1歳6か月児健診事後相談 10回 32人	・児童心理を専門とした心理士等の安定的な任用が課題である。	・1歳6か月児健診事後相談 5回 20人

③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	・健康・安全に関する指導 小中学校全校で実施 ・アサーショントレーニング 中学校1校で実施	保健衛生部門と学校との連携を強化する必要がある。	・健康・安全に関する指導 小中学校全校で実施 ・アサーショントレーニング 中学校1校で実施
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	・出生時、乳児健診時の個別周知実施。「#8000」を知っている保護者の割合 85.9%	・健診や育児相談等の機会に、発達状況に合った適正な受診方法等について今後も継続し、普及啓発を行う。	・出生時、乳児健診時の個別周知実施。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	・妊婦歯科健診 74人 ・1歳6か月児歯科健診 321人 ・3歳児歯科健診 378人 ・フッ化物洗口の実施（全保育所・小中学校）	・令和元年度から実施した妊婦健診については、子育て世代包括支援センター等で、積極的に事業周知を図る。	・妊婦歯科健診 74人 ・1歳6か月児歯科健診 321人 ・3歳児歯科健診 378人 ・フッ化物洗口の実施（全保育所・小中学校）

### 【伊奈町】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	乳児健診267名、1.6歳児健診 291名 3歳児健診329名 乳児相談 11回348名 育児相談11回300名、幼児相談12回44名	未受診者へのアプローチ	乳児健診196名、1.6歳児健診 284名 3歳児健診269名 乳児相談 6回 62名 育児相談6回100名、
② 小児期の心の健やかな発達の促進	乳幼児相談等における支援体制の充実		乳幼児相談等における支援体制の充実
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	健康増進課としての実施はなし。 学校授業の一環として実施。		健康増進課としての実施はなし 学校授業の一環として実施。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	小児初期・同二次救急事業の円滑な実施		小児初期・同二次救急事業の円滑な実施
⑤ 歯科保健医療対策の充実	妊婦歯科検診 受診者数 35名 幼児向けフッ素塗布 塗布者 127名		2月末現在 妊婦歯科検診受診者 29名 幼児向けフッ素塗布 93名

### 医師会

### 【北足立郡市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	4か月・1歳6か月・3歳児健康診査	10か月健診を加えることが望ましい。	まだ、予算化されていない。
② 小児期の心の健やかな発達の促進	5歳児健診	対応人数が少ない。	小児科医師、臨床心理士の確保が難しい。

③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	こどもの心の相談	市民に周知されていないため、相談者が少ない。	広報を広く行うよう対応中。
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	一次救急：鴻巣市夜間診療所・小児夜間救急当番医、二次救急：北里大学メディカルセンター・上尾中央総合病院	特にない。	新型コロナウイルス感染拡大のため、受診者数は激減。
⑤ 歯科保健医療対策の充実	妊婦歯科健康診査・1歳6か月健診・3歳児健診・10か月児相談・2歳児相談での歯科健診	特にない。	同上

### 【上尾市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	医師派遣 4か月児健康診査 年22回実施 受診率96.1% 1歳6か月児健康診査 年22回実施 受診率94.9% 3歳児健康診査 年22回実施 受診率92.4%	健診未受診者への対応 新型コロナウイルス感染拡大による延期等で各健診、対象月齢が遅れている。	医師派遣 4か月児健康診査 年23回実施 受診率94.1% 1歳6か月児健康診査 年15回実施 受診率93.1% 3歳児健康診査 年17回実施 受診率91.9%
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	平日夜間及び休日急患診療所の開設（小児科患者数、平日夜間：463、休日：2,074）	土曜日に開設していない。	平日夜間及び休日急患診療所の開設（小児科患者数、平日夜間：82、休日：194）

### 歯科医師会

### 【北足立郡市歯科医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	・各市町乳幼児健康診査へ歯科医師、歯科衛生士派遣 ・お口の健康まつり開催 6月2日開催 相談 170名参加		・各市町乳幼児健康診査へ 歯科医師・歯科衛生士派遣
⑤ 歯科保健医療対策の充実	各市町乳幼児健診時に歯科衛生士派遣、歯科保健指導		各市町乳幼児健診時に歯科衛生士派遣、歯科保健指導

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 乳幼児健康診査・相談等の充実	①乳幼児健診、小児精神保健に関する会議の開催 1回 13人 ②乳幼児期の発育発達に関する研修会の開催 1回 21人	市町村同士の情報共有及び保健所との連携を続けることも重要。	会議は書面開催にて「管内市町母子保健事業一覧」を作成（11月）
② 小児期の心の健やかな発達の促進	①子どもの心の健康相談の実施 相談件数延べ9件（実8件） ②個別相談 面接2件 電話24件	子どもの心の健康相談が月1回の実施のため相談受理をしたタイミングと実施時期が合わず利用までつながらない。	①子どもの心の健康相談の実施（3回） ②ゲーム依存に関する研修会→新型コロナのため中止
③ 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進	①子どもの心の健康相談の実施 相談件数延べ9件（実8件） ②個別相談（延べ） 面接2件、電話24件	子どもの心の健康相談が月1回の実施のため相談受理をしたタイミングと実施時期が合わず利用までつながらない。	①子どもの心の健康相談の実施（3回） ②ゲーム依存に関する研修会→新型コロナのため中止
④ 小児救急医療の適正受診の推進等	埼玉県中央地区第二次救急医療圏救急医療対策協議会の開催 令和2年2月6日開催	夜間帯の輪番制の整備が課題となっている。	埼玉県中央地区第二次救急医療圏救急医療対策協議会の開催 新型コロナの影響により中止
⑤ 歯科保健医療対策の充実	①保健所歯科保健推進会議 11月18日開催 33名参加 ②口腔ケア研修会の周知 10月31日開催 33人参加	歯科保健の情報提供の場として、管内市町への周知、出席依頼等の充実を図る必要がある。管内市町間での歯科保健に対する格差を縮めるための働きかけが必要。	①保健所歯科保健推進会議 10月22日開催 41名参加 ②口腔ケア研修会 新型コロナの影響により中止



第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組実績・進捗状況（No.3）

重点取組	心の健康対策の推進
目標	住民誰もが安心して暮らしていける相談・支援体制を整備します。また、精神障害者が安心して自分らしく暮らせる地域づくりを推進します。
実施主体	医療機関、訪問看護ステーション、保健所、市町 等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	鴻巣北本地域基幹相談支援センターの設置	相談支援機能の強化	基幹相談支援センターを4月に開設し相談支援業務を実施
② 精神医療対策の充実	こころの相談を実施し、必要な方を医療機関へつなぐ 年15回実施		こころの相談実施状況 年19回実施予定
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	自立支援協議会において、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた話し合いを実施	協議体の構成員等について	鴻巣北本地域自立支援協議会において精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた話し合いを実施
④ 認知症ケア	市内に4名の認知症地域支援推進員を配置し、認知症相談等1906件（うち認知症オレンジダイヤル63件）、オレンジカフェの開催32回、若年性認知症本人のつどい5回開催等、認知症の人やその家族を支援する取り組みを実施している。	認知症地域支援推進員の存在について周知が行き届いていない現状がある。オレンジカフェや若年性認知症本人のつどいは、新規の参加者が少ない。	認知症相談等1337件（うちオレンジダイヤル30件） オレンジカフェ12回開催。 若年性認知症本人のつどい2回開催。カフェ、若年性認知症本人のつどいについては、新型コロナウイルス感染症の感染症対策の為に中止期間があり、開催回数が減った。

【上尾市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	上尾市主催精神障害者ピアサポート講座（全3回）計88人出席	講座内の科目が多いため、講師の確保が課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を中止

<p>④ 認知症ケア</p>	<p>(1) 認知症初期集中支援チーム</p> <p>(2) 認知症サポーターステップアップ講座を令和元年5月29日に開催。参加者数：26人</p> <p>(3) 令和元年11月5日に「本人ミーティング」を鴻巣市と協働開催。若年性認知症の人が4人（内、上尾市2人）参加し、現在の生活状況や今後チャレンジしてみたいこと等について意見交換した。</p> <p>(4) 徘徊高齢者等探索サービス 平成31年度 利用者数：26人 検索依頼数：457件</p>	<p>(1) 相談件数が伸びない。チーム活動について普及啓発を図る必要がある。</p> <p>(2) 定員50人に対し、26人の応募。周知方法や講座の内容を検討する必要がある。</p> <p>(3) 若年性認知症の人の情報が少ない。認知症の人と家族の会等との連携が必要。</p> <p>(4) 端末の所持忘れで探索できない可能性があるため、利用者に合った探索サービスを選択できるよう検討する必要がある</p>	<p>(1) 市内居宅介護支援事業所のケアマネジャーにアンケートを実施。チームの認知度が充分ではないこと、ケアマネジャーがチームの対象となる事例を抱えていることが分かった。チームの周知方法と居宅介護支援事業所からの相談受付の体制について検討する。 新規支援件数：3件</p> <p>(2) コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>(3) コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>(4) 令和2年度 利用者数：24人 検索依頼数：476件</p>
----------------	---	--	--

## 【桶川市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
<p>① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化</p>	<p>A：一般社団法人 埼玉県老人福祉施設協議会主催の「市町村認知症相談窓口職員向け研修会」に高齢介護課職員や地域包括支援センター（R2年2月5日）</p> <p>B：地域自立支援協議会を月1回開催し、各機関から提供する事例をもとに支援について意見交換を行う。</p>	<p>B：基幹相談支援センターを開設し、困難事例が発生した際に相談しやすい流れを構築する。</p>	<p>A：研修会の開催なし。</p> <p>B：基幹相談支援センターや近隣市町と合同で地域自立支援協議会を月に1回開催し、地域課題への対応について意見交換を行う。</p>

<p>③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実</p>	<p>A：退院後速やかに介護サービスを使う必要がある場合、入院中に介護認定調査を受けるようにする等、病院の相談員から提案がある。入院中の主治医より退院後のかかりつけ医に情報提供がなされ、在宅に戻っても、医療・介護のサービスを切れ目なく利用できる仕組みが出来ている。認知症型デイサービスや小規模デイ等、認知症の人が通いやすい通所介護サービスも、市内に複数ある。</p> <p>B：地域包括ケアシステムの市町協議の場開設に向けて基幹相談支援センターの開設準備。</p>	<p>B：地域包括ケアシステムの構築に向けた地域課題やニーズの把握。</p>	<p>A：令和元年度の実績と同様。</p> <p>B：基幹相談支援センターを開設し、地域包括ケアシステムの構築に向けて月1回の会議の開催。地域医療機関へのヒアリングを行い、意見交換を行う。</p>
<p>④ 認知症ケア</p>	<p>A：認知症の基本的知識や認知症の人への対応の仕方などを学び、職場や地域で認知症の人や家族を見守る応援者となる認知症サポーター養成講座を実施。 実施回数：38回 養成者数：1,543人</p> <p>B：徘徊者見守りステッカー交付事業（ステッカーを配布し、利用者情報を警察・消防に提供） 45名</p> <p>C：徘徊高齢者等家族支援サービス事業（GPS機能付機器の貸出し） 15名</p> <p>D：認知症初期集中支援チーム 認知症の人とその家族を支援するため、認知症サポート医、医療職及び介護職がチームとなって、認知症が疑われる人への早期診断、認知症の人への適切な医療・介護サービスにつなぐ支援等を実施。支援件数5件</p> <p>E：おれんじカフェ（認知症カフェ）の開催 認知症の人や家族、地域の人が集い、認知症の人と触れ合って病気の理解を深めたり、認知症介護の情報交換が出来る場 7か所 延べ238名</p>		<p>A：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月まで開催中止。小規模で感染対策を取りながら再開。 実施回数：15回 養成者数：206人</p> <p>B：43名</p> <p>C：16名</p> <p>D：支援件数10件 チームが脳健康度検診（認知症検診。70及び75歳の市民対象）を受診して「要精検」となった人へのフォローを始めることになった。対象者12名</p> <p>E：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止中。</p> <p>F：認知症ケア相談室 （令和2年6月より開始事業） 在宅で認知症の人を介護している家族に対し、認知症ケアの具体的な方法の相談を受け 16件</p>

【北本市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健相談（随時）473人</li> <li>・こころの相談5回 7人</li> <li>・暮らしとこころの総合相談 2回 11人</li> <li>・障害福祉に関する相談（随時）</li> <li>・相談支援事業の実施 生活支援センター夢の実、生活支援センターしゃろーむ北本、相談支援事業所あすなろに業務委託。精神障がい者からの相談実績：98人（実人数）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数の増加により、マンパワー不足である。また相談内容の複雑さから、相談職員として精神保健福祉士等の専門職を配置する等の対応が必要である。</li> <li>・必要な人に届くよう、相談先の周知方法について検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健相談（随時）364人</li> <li>・こころの相談5回 7人</li> <li>・暮らしとこころの総合相談 2回 11人</li> <li>・障害福祉に関する相談（随時）</li> <li>・相談支援事業の実施（委託）</li> </ul>
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行支援 精神科病院入院患者を対象に退院に向けて障害福祉サービスの利用等に関しする説明会を実施。（生活支援センター夢の実が主催）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度内に精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議の場の設置。</li> <li>・現在、設置に向けて調整中。</li> </ul>
④ 認知症ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジサロンに認知症ケア相談室を併設して1か所設置、10回開催。参加者数延べ21人</li> <li>・認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置</li> <li>・令和元年11月8日に認知症疾患医療連携協議会出席</li> <li>・令和元年12月13日に県央圏域認知症地域支援推進員ネットワーク会議出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が利用しやすいよう、オレンジサロンの開催場所、開催頻度等、検討をする。</li> </ul>	<p>オレンジサロンについて、令和2年度から既存の高齢者サロン等通いの場を活用し、地域包括支援センター職員が出張して認知症ケア相談室を併設する形式で2か所開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から通いの場等が開催を見合わせる等あり中止。地域包括支援センターが主催、運営する介護者サロン&amp;オレンジサロンきたもとして、11月と12月に2回開催した。</p>

【伊奈町】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に対する訪問巡回指導の実施</li> <li>対象者数3名 訪問回数 延べ30回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者、家族、医療機関、訪問看護担当者とのきめ細やかな情報連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者数 3名 訪問回数 延べ24回</li> </ul>
② 精神医療対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回 カウンセラーによる面談</li> <li>「こころの健康相談」実延べ13名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の状態に応じた専門施設との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「こころの健康相談」実績8名</li> </ul>

③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	町福祉課、社会福祉協議会などで対象者に対する支援を実施。	本人の状態に応じた専門施設との連携	町福祉課、社会福祉協議会などで対象者に対する支援を実施。
④ 認知症ケア	町福祉課、社会福祉協議会などで対象者に対する支援を実施。	本人の状態に応じた専門施設との連携	町福祉課、社会福祉協議会などで対象者に対する支援を実施。

## 医師会

### 【上尾市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
② 精神医療対策の充実	医師の派遣 心の健康講座 1回実施 精神科医による心の健康相談 10回実施		
④ 認知症ケア	認知症初期集中支援チーム業務委託受託 ・医療機関名：藤村病院 新規支援件数：4件	相談件数が伸びない。チーム活動について普及啓発を図る必要がある。	新規支援件数：3件

## 薬剤師会

### 【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
④ 認知症ケア	・認知症初期集中支援チーム検討委員会への委員参画 ・薬剤師認知症対応力研修会受講	・認知症ケアチーム連携体制の強化 ・対応できる薬剤師の人数増加	・継続開催（WEB会議）

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 精神保健福祉・訪問指導体制の強化	面接 実49人 延93人 訪問 実86人 延210人 電話 実384人 延1308人	本人・家族が安心して生活できるよう他機関と連携して相談体制を構築する。	面接 実46人 延57人 訪問 実76人 延122人 電話 実274人 延1164人
② 精神医療対策の充実	精神保健研修会の開催 3回 93人 精神障害者家族交流会の開催 1回 16人	精神保健福祉対策推進のため、関係機関及び住民（家族）に対して研修会を開催する必要がある。	・精神保健研修会の開催 1回 16人
③ 退院後支援と地域包括ケア体制の充実	精神障害者支援地域協議会（代表者会議）の開催 1回 18人 精神障害者支援地域協議会（調整会議）の開催 67回 延229人 地域支援体制構築会議の開催 1回 16人 地域包括ケアシステム構築推進研修の開催 1回 41人	措置入院者が退院後に必要な医療等の支援が継続的かつ確実に受けられるように連携をする。精神障害者を地域で支えるシステムを構築するために関係機関との協議が必要	精神障害者支援地域協議会（調整会議）の開催 39回 延172人 地域支援体制運営会議の開催 2回 18人
④ 認知症ケア	上尾市及び鴻巣市認知症初期集中支援チーム検討委員会への参加	認知症の症状があっても地域で生活できるよう、関係機関における支援体制の充実を図る必要がある。	・認知症疾患医療センター主催の認知症疾患医療連携協議会参加予定（1月） ・鴻巣市認知症初期集中支援チーム検討委員会へ参加予定（1月）

第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組実績・進捗状況（No.4）

重点取組	在宅医療の推進
目標	地域の関係機関・団体が連携を強化し、誰もが安心して住み慣れた地域で在宅療養できる支援体制を構築します。
実施主体	市町、医師会、医療機関、地域包括支援センター、保健所等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅医療・介護連携推進会議3回 ワーキンググループ4回	あまり活発な意見交換にならない。	在宅医療・介護連携推進会議3回 ワーキンググループ4回
② 在宅歯科保健医療体制の充実	地域在宅歯科医療推進窓口のご案内の配布	歯科に関する要望が見えてこない	地域在宅歯科医療推進窓口のご案内の配布 訪問歯科診療対応医療機関一覧の配布
③ 必要な情報の提供、相談・支援	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談業務 H31年度実績 79件	電話と来所者の相談支援のみ	鴻巣地区在宅医療連携センターによる相談業務 R2年度実績（12月まで）35件
④ 人材育成	多職種研修 令和元年12月 参加者数 42名 講義内容 多職種連携研修 講師 新井 利民氏	必要とされる研修内容がつかめず、参加者が集まらない	多職種研修 令和2年12月26日 参加者数40名 講義内容「災害に備えて」 講師 医師 坪井 謙氏
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	各課にて把握している医療的ケア児者の情報共有を実施	医療的ケア児者の把握方法について	自立支援協議会において、災害時支援について今後協議を行う。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	鴻巣市、桶川市、北本市、伊奈町及び上尾市の主催による「身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会」の開催 5月24日、令和2年1月30日開催	市町と医療機関の情報共有やそれぞれが行う取組の相互理解の推進	新型コロナウイルス感染症感染予防のため開催されていない

【上尾市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	<p>(1) 上尾市医師会、上尾中央総合病院、ケアマネの会、市をメンバーとして医療介護連携会議を毎月1回（第4木曜日）開催。多種職連携を強化するために、医療・介護従事者を対象とした研修（グループワーク）を令和元年8月1日に開催。参加者数：69人</p> <p>(2) 専門職との連携を強化し、ケアマネジャー等の資質向上を目指すため、理学療法士、薬剤師、管理栄養士など多様な専門職の助言を受けながらケアプランを検討する「自立支援型地域ケア会議」をグループワーク形式で開催した。5回開催</p>	<p>(1) 介護従事者に比べて、医師や医療従事者の参加が少ないので、周知方法や会場等に工夫が必要。</p> <p>(2) より多くのケアマネジャーのケアプラン検討の機会を増やすため、1回に検討する事例数を増やす工夫が必要。自立支援型ケア会議の検討結果から地域課題を抽出し、施策形成へとつなげることが課題。</p>	<p>(1) 会場を上尾中央総合病院にして、多種職研修を開催する予定だったが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>(2) コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期。11月、12月に規模を縮小して開催。1月以降はオンラインで開催予定。</p>
③ 必要な情報の提供、相談・支援	<p>(1) 在宅医療連携拠点（上尾市医師会在宅医療連携支援センター）が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数：463件。</p> <p>(2) 在宅診療マップを作製し、医療機関、地域包括支援センター公共施設等に配布。 配布数：4,000枚</p> <p>(3) 高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳（わたしノート）を作製し、市民や医療・介護従事者に配布。 配布数：8,028冊</p>	<p>(1) 相談件数が増加傾向にあるので、課題として捉えていることはない。</p> <p>(2) 地域包括支援センターが相談・支援の際に活用しており、追加の要望もあるので、課題として捉えていることはない。</p> <p>(3) 在庫不足。増刷するか、配布対象者の限定が必要。</p>	<p>(1) 在宅医療連携拠点の相談件数：201件</p> <p>(2) 配布数：4,000枚</p> <p>(3) 配布対象者を原則65歳以上の単身高齢者または出前講座で書き方の説明を受けた人とした。</p>
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	<p>身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会を令和元年5月24日、令和2年1月30日に開催。鴻巣保健所圏域の4市1町、医療機関、鴻巣保健所が参加。</p>	<p>関係機関・団体による継続的な情報共有・連携の強化が必要である。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年12月末現在未実施である。</p>



## 【桶川市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	退院後速やかに介護サービスが必要な場合、医師や病院の相談員より、早めの介護認定の申請を促したり、入院中に介護認定調査を受けるようにする等の提案がある。介護認定の申請は、市や地域包括支援センターが窓口。（地域包括支援センターは代理申請）入院中の主治医より退院後のかかりつけ医に情報提供がなされるなど、在宅に戻っても、医療・介護のサービスを切れ目なく利用できる仕組みが出来ている。		令和元年度の取組みと同様。
② 在宅歯科保健医療体制の充実	A：必要に応じて、県在宅歯科医療推進窓口の案内を実施。 B：桶川市地域資源マップ（在宅療養マップ）を作成し、その中に歯科医院の情報を掲載。地域包括支援センターや歯科医院、市民へ配布。	A：県在宅歯科医療推進窓口の認知度が低い。	A：必要に応じて、県在宅歯科医療推進窓口の案内を実施。 B：令和元年度の取組みと同様。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅医療と介護を一体的に提供する体制作りを担う機関として「桶川北本伊奈地区在宅医療連携センター」を設置。退院支援や相談対応などを行っている。 相談件数 48件		相談件数 24件
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	日常生活用具申請等により医療機器の使用を把握している人、保健所からの情報提供があった人から医療依存度の高い人の把握を行う。	保健所から市への情報提供に同意が得られない人で、市の福祉に繋がっていない人は把握が難しい。	引き続き、医療依存度の高い人の把握を行う。聴覚障害者用防災バンダナを作成。聴覚障害の手帳を取得した人、手話通訳ができる人等、市内在住の希望者へ配布。避難訓練等の場での防災バンダナの周知。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	病院や保健所、関係機関と連携しながら対応した。また、身寄りがなく、生活に不安のある高齢者には、早めに成年後見制度を活用するなどの周知を行った。		令和元年度の取組みと同様。

## 【北本市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・医療・介護関係者の研修会開催 延べ55人	・医療・介護関係者の連携強化を促進するため、研修会等企画していく。	研修会を2回企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	・在宅医療連携センターの相談件数 延べ65件	・相談窓口の周知を継続し、連携調整、情報提供等による支援を実施していく。	・在宅医療連携センターの相談件数 延べ29件

## 【伊奈町】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	町・医療機関等と定期的な会合を実施		町・医療機関等と定期的な会合を実施
② 在宅歯科保健医療体制の充実	特になし（民間医療機関が実施）	在宅診療可能な医療機関との連携	特になし（民間医療機関が実施）
③ 必要な情報の提供、相談・支援	医療・健康管理部門において、地域包括支援センターと連携し対象者情報を共有		医療・健康管理部門において、地域包括支援センターと連携し対象者情報を共有
④ 人材育成	研修・講習の参加		研修・公衆の参加
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援	町で災害時支援が必要な方のリストを保有、整備を実施している。	対象者の把握	町で災害時支援が必要な方のリストを保有、整備を実施している。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等	<p>【お年寄り世帯見守りたい事業】</p> <p>町内に在住する中学生以上の方で当該事業にご協力いただける方々に、買い物や学校の行き帰りなどの外出時の際、お年寄り世帯の見守り活動を行っていただく事業。協力者には「たい員証」を付与し、毎年「たい員向けの情報紙」を発行。見守りに関する意識の啓発に取り組んで</p> <p>令和2年1月現在717名の登録</p>	<p>地域の人たちがお互いに助け合い、支え合うことを基本とし、お年寄りが安心して暮らせるまちづくりを実現することを目的としているため、「お年寄り世帯見守りたい員」の更なる活動や活躍が期待されていた。</p>	<p>【いな見守りONE TEAM事業】</p> <p>高齢者、障がい者、児童等が安心して暮らせるようにするため、虐待、行方不明、閉じこもり、孤立、消費者被害などの異変を早期に発見し、必要な支援に繋げることのできる体制の構築を図る事業を新たに実施。</p> <p>「お年寄り世帯見守りたい員」や町内で事業活動をしている「事業者」からの協力を得て実施している。</p> <p>※別添参照</p>

## 医師会

### 【北足立郡市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・北足立郡市医師会学術講演会として、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・訪問看護ステーション職員・埼玉県議会議員・行政職員等を対象に「人生の最終段階における医療・ケアに関する普及啓発事業」を実施。	・連携強化のための会議の不足。	コロナ禍で進行はしていません。
② 在宅歯科保健医療体制の充実		・歯科医師会、医師会との連携。 (在宅歯科、歯科、相互に認知不足)	同上。
③ 必要な情報の提供、相談・支援		・専門職種の情報不足による情報提供、相談支援の不足。	同上。

④ 人材育成		・相互理解の不足による適正な人材育成は不十分。	同上。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援		・これまでより多職種の連携が必要。	同上。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等		多職種連携の不足、認知症初期集中支援の周知不足。	・高齢者の見守りについて、医師会としても行政と連携を図る。

### 【上尾市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅緩和ケア充実支援事業研修会を開催 ・地域の緩和ケア科がある病院と地域の多職種により「在宅緩和ケアの現状と展望」と題した研修会(パネルディスカッション)を開催した。 ・対象者：市内の医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、薬剤師、行政 ・講師：病院副院長、クリニック院長、介護専門員、訪問看護ステーション管理者、主任薬剤師 ・参加者：115人	多職種による協議を継続して実施していく会議体の設置が難しい。	コロナウイルス感染拡大防止のため研修会を計画できなかった。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	(1) 在宅医療連携拠点(上尾市医師会在宅医療連携支援センター)が市民、医療・介護関係者への在宅医療に関する情報提供や相談・支援を実施。相談件数：463件。 (2) 在宅診療マップ作製(市)に上尾市医師会在宅医療連携支援センターが協力し、医療機関、地域包括支援センター公共施設等に配布。配布数：4,000枚 (3) 高齢者が自分の情報を家族や支援者と情報共有するための手帳(わたしノート)作製に上尾市医師会在宅医療連携支援センターが協力し、市民や医療・介護従事者に配布。配布数：8028冊	(1) 相談件数が増加傾向にあるので、課題として捉えていることはない。  (3) 在庫不足。増刷するか、配布対象者の限定が必要。	(1) 在宅医療連携拠点の相談件数：201件  (2) 配布数：4,000枚  (3) 配布対象者を原則65歳以上の単身高齢者または出前講座で書き方の説明を受けた人とした。

④ 人材育成	人生の最終段階における医療・ケア等に関する研修会(パネルディスカッション)を開催。 ・対象者：地域の医師、看護師などの医療従事者やケアマネジャーなどの介護従事者等を対象 ・講師：クリニック理事長・院長、ケアマネの会会長、看護師、医療ソーシャルワーカー ・参加者数：88人		コロナウイルス感染拡大防止のため研修会を計画できなかった。
--------	--	--	-------------------------------

## 歯科医師会

### 【北足立郡市歯科医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加		在宅拠点事業担当歯科衛生士による合同連絡会へ参加
② 在宅歯科保健医療体制の充実	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科の派遣 北足立窓口 4件 上尾窓口 26件		在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科の派遣 北足立窓口 6件 上尾窓口 21件
③ 必要な情報の提供、相談・支援	在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談 北足立窓口 10件 上尾窓口 21件		在宅歯科医療推進窓口での訪問歯科等に関する相談 北足立窓口 14件 上尾窓口 11件

## 薬剤師会

### 【鴻巣市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	11/6、2/19鴻巣市在宅医療介護連携推進会議に参加	連携に係るツールの提案はあるものの、使い勝手や使用目的の達成までに問題がありそう	7/20、10/13鴻巣市在宅医療介護連携推進会議に参加
③ 必要な情報の提供、相談・支援	月1回の鴻巣市中央型自立支援ケア会議に薬剤師助言者として参加	自立支援及び地域ケア会議が実りある活発な会議に発展	地域包括型自立支援ケア会議 5包括支援センターに正副薬剤師助言者2名を配置

### 【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・医療・介護・福祉をつなぐ会の企画協力 ・医療と介護のプロジェクト会議参加（医師会主催）	・顔の見える関係連携強化 ・他職種の業務内容の理解	・継続開催（コロナのためWEB開催）
④ 人材育成	・在宅医療連携体制充実支援事業への参加 11月13日	・医療、ケアなどを担う他職種との連携の構築	・コロナのため中止

### 【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	☆桶川市の5つの地域包括ケア会議すべてにメンバーとして参加 ☆ケアマネージャーとの連携 意見交換会 12月19日	ケア会議に参加した薬剤師の横の連携をしっかりと取り問題点を共有して更なるアドバイスの向上に努めたい。	コロナ禍のためケア会議がかなり中止になり薬剤師の横の連携の会合も開けなかった。
③ 必要な情報の提供、相談・支援	各薬局で随時相談に応じていた。		各薬局で随時ご相談に応じている。

### 【北本市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	R1.4月第一回北里メディカルセンター薬剤部と打合せ 北里6名 北本薬剤師会 2名参加	北里薬剤部と北本市薬剤師会の連携の強化 定期的に打合せを行う	コロナ禍の為、未実施

### 消防本部

### 【埼玉県央広域消防本部】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援		医療支援情報等について関係市との共有	

保健所

【鴻巣保健所】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	難病対策地域協議会の実施 1回 24人	就労委員の選任	書面開催準備中（2月実施予定）
② 在宅歯科保健医療体制の充実	保健所歯科保健推進会議 11月18日開催 33名参加	歯科保健の情報提供の場として、管内市町への周知、出席依頼等の充実を図る必要がある。管内市町間での歯科保健に対する格差を縮めるための働きかけが必要。	保健所歯科保健推進会議 10月22日開催 41名参加
③ 必要な情報の提供、相談・支援	①個別相談（延べ） （難病）訪問14人 面接44人 電話342人 （小慢）訪問17人 面接10人 電話217人 ②継続申請時の療養生活のおたずね、アンケートの発送	本人、家族が安心して療養生活を送れるよう、医療、福祉等の関係機関との連携が必要。	①個別相談（延べ） （難病）訪問3人 面接28人 電話81人 （小慢）訪問6人 面接11人 電話128人 ②療養生活のおたずね、アンケートの発送（対象疾患群及び医療機器使用者のみ） 難病155人 小慢35人
④ 人材育成	（感染症） 高齢者介護に係る関係者向け研修 ①「結核に関する基礎知識」 在宅介護関係者35人 ②「施設における感染症対策」 施設内介護関係者17人 （精神） 高齢者介護に係る関係者向け研修 ①「高齢者に多くみられる精神疾患の理解と対応」 高齢福祉関係者35人	（感染症） 基本的な感染対策を浸透させるためできるだけ多くの関係者の意識を高めることが必要。各所属でできる研修支援などを検討。  （精神） 保健、福祉の関係者が精神疾患の知識と対応について学ぶ機会を設け、実践につなげる。	（感染症） ・新型コロナウイルス感染症対策の実践をとおり、関係機関への啓発を行っている。  （精神） 高齢者介護に係る関係者向け研修 1回 16人

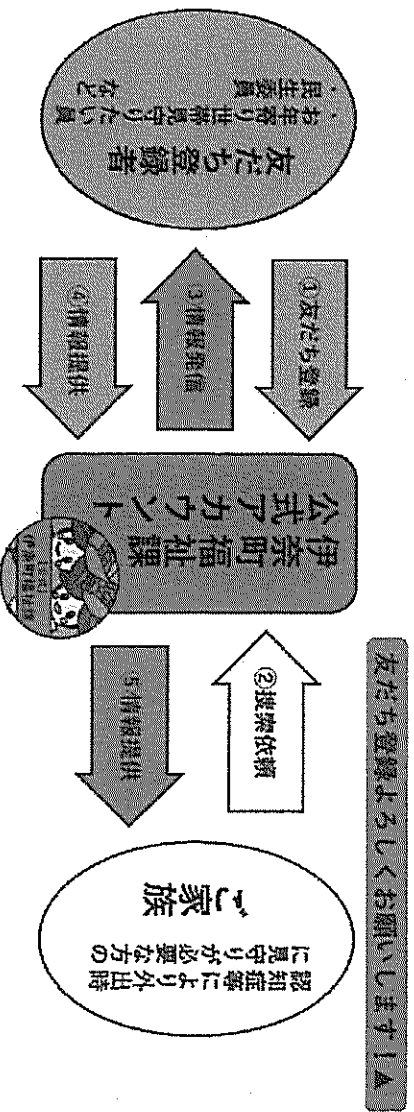
<p>⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援</p>	<p>①「東京電力緊急時対応に関する所内勉強会」 保健所職員、管内市町障害福祉課職員9人 ②災害時医療機器使用者リストの更新、市町への情報提供 年2回</p>	<p>マンパワーの課題があり、直接的な支援が難しい。引き続き、災害対策に関する情報提供を継続する必要がある。リストの更新、情報提供に加え、活用状況の把握を行う。</p>	<p>災害時医療機器使用者リストの更新、市町への情報提供 年2回（6、12月）</p>
<p>⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備等</p>	<p>身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会参加 令和元年5月24日、令和2年1月30日</p>	<p>医療と福祉の継続的な連携の強化が必要である。</p>	<p>身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供連絡会参加</p>

# いな見守りONE TEAM事業 はじまりました！！

認知症などにより日常的に外出時の見守り支援が必要な高齢者または障がい者等(外出時見守り対象者)が行方不明となった場合に、早期発見に繋がられるよう支援体制の構築を図るため、令和2年4月から次の3つの事業を一体的に実施しています。

## ① 伊奈町福祉課公式LINE (高齢者等見守りネットワーク事業)

無料通信アプリ「LINE」で『伊奈町福祉課公式アカウント』を友だち登録していただくと、外出時見守り対象者が行方不明となった場合に、福祉課からLINEを通じて捜索・情報提供に関する協力依頼の通知が発信されます。その通知を受けとった方は、日常生活を送るなかで可能な限り、行方不明者の捜索・情報提供に協力いただくとともに、行方不明者や行方不明者と思われる人を見守った場合は、LINEを通じて福祉課へ情報提供をお願いします。



## ② どこシル伝言板 (高齢者等見守りシール交付事業)

外出時見守り対象者に、洋服や持ち物に貼ることのできるQRコードを印字したラベル・シール40枚を交付(初回のみ無料)します。外出時見守り対象者が行方不明となった場合、発見者が洋服等に貼ってあるQRコードをスマートフォン等で読み取ると、発見者と行方不明者の家族がインターネット上の伝言板を通じて連絡が取れるようになります。



▲QRコードの読み取り時や伝言板への書き込みがあった際には、家族へ瞬時にメールが送信されます。伝言板のやり取りでは、個人情報を開示することなく「発見→保護→家族への引き渡し」を安心・安全・迅速に行えます。



### ③ GPS 機器購入補助 (高齢者等 GPS 機器導入補助金交付事業)

外出時見守り対象者がGPS機器を持ち歩くことにより、行方不明になった場合でも、その介護者やご家族が位置情報を確認することができます。

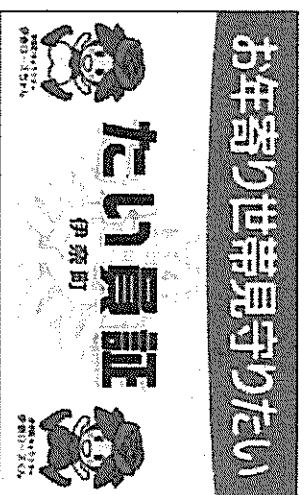
GPS位置情報システムを導入する際の初期導入経費やその手数料に対し、7,000円(1人1回限り)を上限として補助金を交付します。

#### ●次の2つの事業も引き続き実施しています！●

### お年寄り世帯見守りたい事業

お年寄り世帯見守りたい員とは、町内在住のおおむね65歳以上の高齢者を、中学生以上のボランティアで見守りをお願いしています。

一人暮らしや高齢者のみの世帯が増えています。高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも安全に安心して暮らし続けられるよう、みなさん自身が地域を支えるボランティアとして、たい員登録をお願いします。



▲登録していただくとたい員証が交付されます

### 緊急通報システム事業

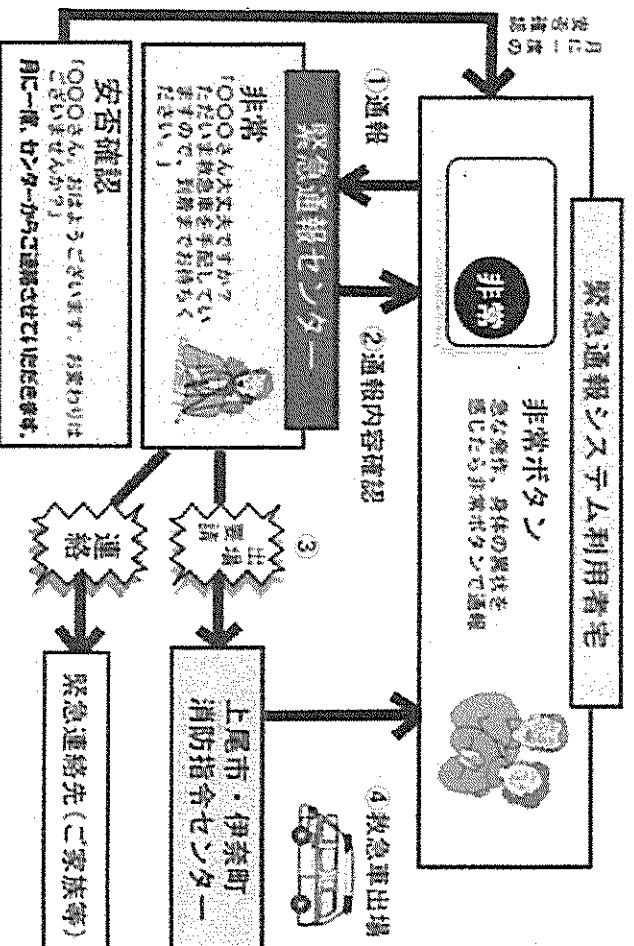
緊急通報システムとは、在宅で急な発作や身体の異常を感じた際に、非常ボタンで通報できるシステムです。町内に在住する、おおむね65歳以上の高齢者世帯でご利用いただけます。緊急時の通報や月に一度の安否確認を行い、高齢者等に安心して地域で生活していただける環境を作ります。

〈対象〉

町内在住の高齢者世帯または単身の重度心身障害者世帯で自宅に電話機のある世帯

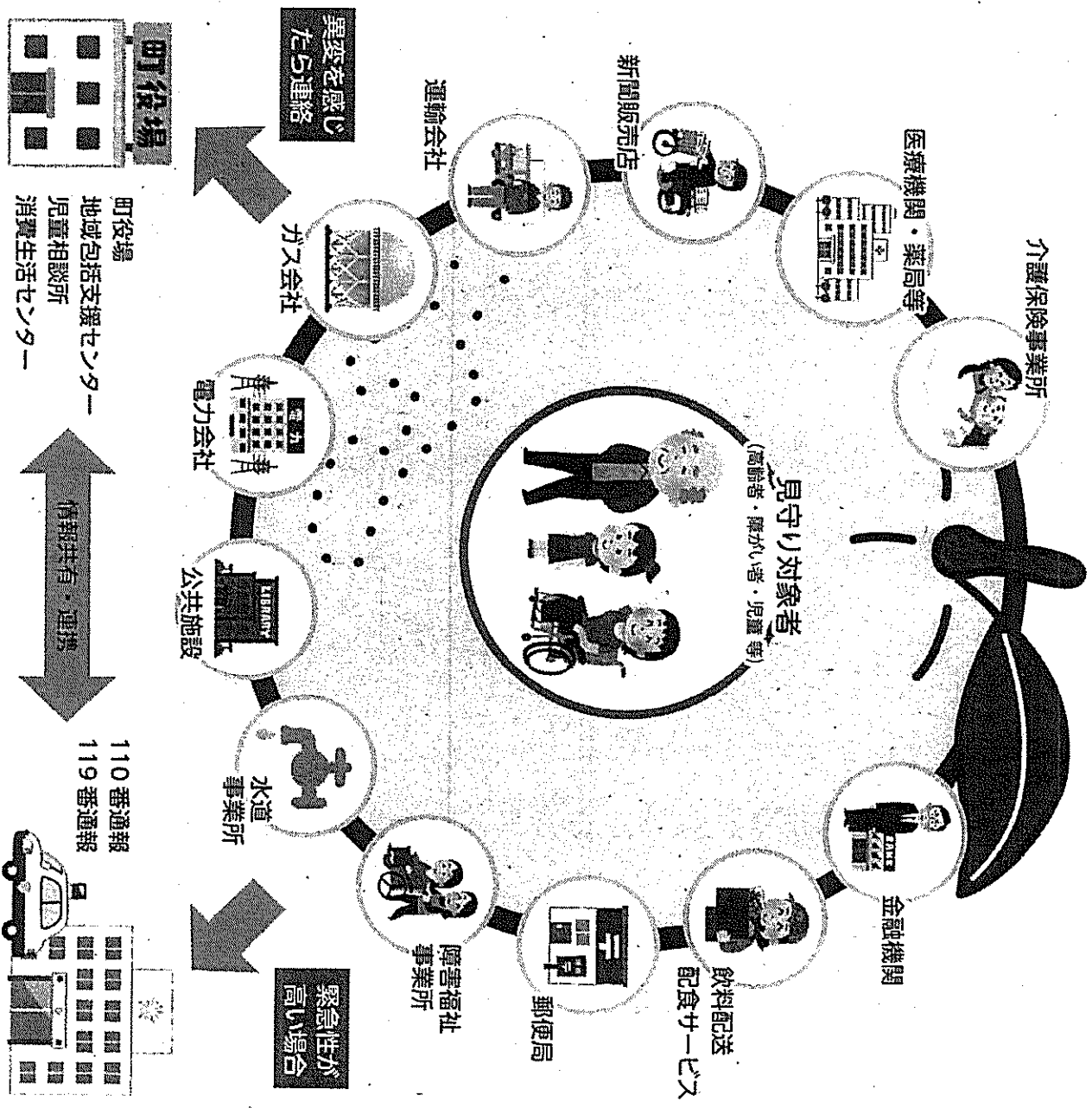
※同一敷地内または同一建物内に親族のいないことが条件です。

※月額利用料金が発生します。



問い合わせ：伊奈町福祉課 総合福祉係 048-721-2111 (代)





ロゴマークもできました!

イメージカラー「オリーブ」は、高齢者・障がい者・児童等を町全体で見守る温かく優しい地域社会をイメージしています。認知症支援や児童虐待防止施策のイメージカラーとしても使われていることから、事業名を「オリーブネットワーク」と名付けました。またコロナ禍は、地域の優しい手で高齢者・障がい者・児童等の心を包み込むネットワークを構築できるような願いを込めて福祉課職員が発案・作成しました。



第7次埼玉県地域保健医療計画（県央保健医療圏）取組実績・進捗状況（No.5）

重点取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	関係機関等による「顔の見える関係」を形成し、健康危機管理体制の充実を図るとともに、健康危機管理対策の強化を図ります。
実施主体	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関等

市町

【鴻巣市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>県央地域災害保健医療連絡会及び災害保健医療研修会に参加。</li> <li>埼玉県県央地域災害保健医療連絡会訓練に参加。</li> <li>埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練の参加。</li> </ul>	訓練は電話のみの訓練であり、実際の災害に則した実働訓練ができていなかったのが課題と感じた。	新型コロナウイルス対策本部会議の開催、新型コロナウイルス感染症対策の啓発活動実施。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	福祉避難所避難訓練の実施 令和2年1月25日（土）		
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	<p>【再掲】市内の小中学校で思春期防煙・薬物乱用防止教室を開催。</p> <p>小中学校校16校 1757人に実施</p> <p>食生活改善推進員協議会定例会で食中毒についての講話と実習</p>	他の学校行事との日程調整が困難なことがある。	<p>小学校5校 434人に実施。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により6校で中止</p> <p>食生活改善推進員協議会定例会で食中毒についての講話と実習新型コロナウイルス感染拡大のため、食中毒防止のための資料のみ配布。 配布人数 172人</p>
④ 感染症対策の推進	市内公共施設（市役所、保育所、児童クラブ、公民館等）に手指消毒剤を配布	消毒剤が品薄な時期があった。	<p>手指消毒剤の配布</p> <p>緊急事態宣言中の外出自粛のチラシ作成、配布2回</p>

## 【上尾市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	上尾市医師会との会議を実施（令和1年度第1回 災害支援委員会会議）	・医療救護所の設置・運営手法が決まっていない ・市本部に設置すべき医療資源の需給調整を行う医療救護マネジメントセンターの設置・運営手法が決まっていない（市医師会、県医療整備課、保健所、災害拠点病院との連携方法も検討が必要）。	医療救護所の設置運営訓練の企画を検討していたが、新型コロナウイルス対応のため進捗なし。
④ 感染症対策の推進	新型コロナウイルス対策本部の設置、対策本部会議の開催。 上尾市医師会が開催する新型コロナウイルス感染症対策検討会議に出席。		新型コロナウイルス対策本部会議の開催、新型コロナウイルス専門家会議の開催。上尾市医師会との情報交換・共有。 上尾市医師会が開催する新型コロナウイルス感染症対策検討会議に出席。

## 【桶川市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	第47回地域医療協議会の開催 テーマ「風しん追加的対策について」 R元年11月20日 参加者：鴻巣保健所、埼玉県央広域消防本部、伊奈町消防本部、鴻巣保健所管内医療機関、鴻巣市、北本市、伊奈町、桶川市		第48回地域医療協議会の開催 テーマ「新型コロナウイルス感染症について」 R2年11月24日 参加者：鴻巣保健所、埼玉県央広域消防本部、伊奈町消防本部、鴻巣保健所管内医療機関、鴻巣市、北本市、伊奈町、桶川市
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	H29年度に災害時の医療救護活動に関する協定を地区医師会・歯科医師会・薬剤師会と締結 R2年2月26日 接骨師会と上記協定を締結した。		
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	小学校5、6年生を対象に実施する防煙健康教室において薬物乱用防止についての講話も実施。 4校、584名参加。	成人を対象とした啓発が必要。	小学校5、6年生を対象に実施する防煙健康教室において薬物乱用防止についての講話も実施。 2校、344名参加。
④ 感染症対策の推進	県主催の新型インフルエンザ等感染症対策研修会に参加 令和元年10月28日	さらに感染症対策の推進を図る必要がある	県主催研修会へ適時参加

【北本市】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況（12月末現在）
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健衛生連絡会議 1回実施</li> <li>歯科保健連絡会議 2回実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>保健衛生連絡会議 2回実施予定</li> <li>歯科保健連絡会議 2回実施予定</li> </ul>
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時災害時医療保健活動マニュアル策定に係る合同会議実施</li> </ul>		
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>服薬に関する講習会 1回実施</li> </ul>		
④ 感染症対策の推進	<p>【個別予防接種状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BCG 333人</li> <li>四種混合 1,430人</li> <li>二種混合 375人</li> <li>麻しん風しん混合 727人</li> <li>水痘 682人</li> <li>日本脳炎 1,692人</li> <li>インフルエンザ菌b型 1,355人</li> <li>小児用肺炎球菌 1,397人</li> <li>B型肝炎 1,063人</li> <li>子宮頸がん10人</li> <li>高齢者インフルエンザ 9,151人</li> <li>高齢者肺炎球菌 678人</li> </ul> <p>【任意予防接種助成金状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おたふくかぜ 281人</li> <li>幼児のインフルエンザ 1,298人</li> <li>ロタウイルス 693人</li> <li>高齢者肺炎球菌 201人</li> </ul> <p>【新型コロナウイルス感染症関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北本市ホームページ、広報紙での市民への情報提供や啓発（随時）</li> <li>啓発チラシの配布（新聞折込）</li> </ul> <p>21,600枚</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>増大する感染症対策業務に係るマンパワー不足が課題である。</li> <li>定期予防接種及び任意予防接種補助金の奨励により、感染症の発症を予防する重要性に鑑み、接種率の向上を図るため、予防接種法の基づく勧奨や補助制度の周知を図る。</li> </ul>	<p>【個別予防接種状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BCG 293人</li> <li>四種混合 1,136人</li> <li>二種混合 322人</li> <li>麻しん風しん混合 634人</li> <li>水痘 543人</li> <li>日本脳炎 1,357人</li> <li>インフルエンザ菌b型 1,125人</li> <li>小児用肺炎球菌 1,078人</li> <li>B型肝炎 815人</li> <li>子宮頸がん 28人</li> <li>高齢者インフルエンザ 13,965人</li> <li>高齢者肺炎球菌 574人</li> </ul> <p>【任意予防接種助成金状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おたふくかぜ 218人</li> <li>幼児のインフルエンザ 1,510人</li> <li>ロタウイルス 455人</li> <li>高齢者肺炎球菌 191人</li> </ul> <p>【新型コロナウイルス感染症関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス対策連絡協議会13回開催</li> <li>新型コロナウイルス対策本部会議13回開催</li> <li>北本市ホームページ、広報紙、デジタルサイネージでの市民への情報提供や啓発（随時）</li> <li>啓発チラシの配布（新聞折込）</li> </ul> <p>42,000枚</p>

## 【伊奈町】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	危機管理部門との連絡調整、情報共有		危機管理部門との連絡調整、情報共有
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	町地域防災計画に基づく避難訓練の実施		防災訓練についてはコロナ禍で中止。
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	公共施設等にポスター等を掲示し、周知を図った。		公共施設等にポスター等を掲示
④ 感染症対策の推進	公共施設等へのポスター等の掲示、広報及び町HPへ記事掲載。		公共施設等へのポスター等の掲示、広報及び町HPへ記事掲載。

## 医師会

## 【北足立郡市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 関係機関・団体の連携強化	・北足立郡市医師会学術講演会として、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・訪問看護ステーション職員・埼玉県議会議員・行政職員等を対象に「人生の最終段階における医療・ケアに関する普及啓発事業」を実施。	・連携強化のための会議の不足。	コロナ禍で進行はしていません。
② 在宅歯科保健医療体制の充実		・歯科医師会、医師会との連携。 (在宅歯科、歯科、相互に認知不足)	同上。
③ 必要な情報の提供、相談・支援		・専門職種の情報不足による情報提供、相談支援の不足。	同上。
④ 人材育成		・相互理解の不足による適正な人材育成は不十分。	同上。
⑤ 医療依存度の高い人への災害時支援		・これまでより多職種の連携が必要。	同上。
⑥ 身寄りのない高齢者等への円滑な医療・保健・福祉サービス提供体制の整備 等		多職種連携の不足、認知症初期集中支援の周知不足。	・高齢者の見守りについて、医師会としても行政と連携を図る。

## 【上尾市医師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	市及び拠点病院との会議を実施（令和1年度第1回 災害支援委員会会議）	・医療救護所の設置・運営手法が決まっていない ・市本部に設置すべき医療資源の需給調整を行う医療救護マネジメントセンターの設置・運営手法が決まっていない（市、県医療整備課、保健所、災害拠点病院との連携方法も検討が必要）。	新型コロナウイルス対応のため進捗なし。
④ 感染症対策の推進	新型コロナウイルス感染症対策検討会議 開催数：3回		新型コロナウイルス感染症対策検討会議、緊急総務委員会 開催数：6回

## 薬剤師会

### 【鴻巣市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	1/19薬剤師災害リーダー研修会に参加	地元の連携体制確認と整備	コロナ禍で活動実績なし
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	4月頃、医歯薬会長にて鴻巣市災害時マニュアルについて申合せ	具体的な動きを勘案したマニュアル作り	コロナ禍で活動実績なし
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	各学校薬剤師、県薬講習会による知識の習得 担当校からの相談により薬物乱用教室の実施	薬物乱用教室の実施及びその内容の充実	各学校薬剤師、県薬講習会による知識の習得
④ 感染症対策の推進	報告に値する内容なし	パンデミック時の会員薬局運営に係る感染予防対策物資（マスク・消毒薬等）備蓄・配布 薬局がクラスターになった場合の運営（近隣薬局との連携・人的補助等）	3月～5月、鴻巣市及び厚労省提供マスクを会員薬局に3回配布 6月中旬、厚労省提供の高濃度アルコールを希望会員薬局に配布



### 【上尾伊奈地域薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師災害リーダー研修会受講</li> <li>・行政との災害時医療救護活動の協定締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の協力薬局・薬剤師の数の拡大啓蒙活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師災害リーダー研修会(2月7日WEB開催)</li> </ul>
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政による総合防災訓練への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な指示系統によるスムーズな連携活動の訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのため規模縮小</li> </ul>
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬物乱用防止指導員として参画</li> <li>・小・中・高校での薬物乱用防止講演</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年の定期的講演が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのため一部の学校での講演</li> </ul>
④ 感染症対策の推進			<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナワクチン接種時の協力作業に関する体制構築</li> </ul>

### 【桶川市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時活動マニュアルに沿って対応</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時活動マニュアルに沿って対応</li> </ul>
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年11月3日「薬物乱用防止・薬と健康キャンペーンにおいて」リーフレット、配布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物乱用防止のポケットカレンダーの配布</li> </ul>
④ 感染症対策の推進			<ul style="list-style-type: none"> <li>各薬局にマスク、アルコールの配布</li> </ul>

### 【北本市薬剤師会】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時各関係機関との連携の構築 北本市と打合せ(会長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時担当薬剤師のみだけでなく会員薬局に周知する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北本市がマニュアル作成中</li> </ul>
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物乱用防止ポスターの掲示 各会員薬局に掲示 20店舗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物乱用教室を開催する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物乱用教室を薬物乱用防止指導員が中心になり検討予定</li> </ul>

## 消防本部

### 【埼玉県央広域消防本部】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	県央地域災害保険医療連絡会への参加	災害時における地域医療機関との更なる連携強化	災害時のみならず、平時から関係市との情報共有を実施

## 保健所

### 【鴻巣保健所】

主な取組	令和元年度（平成31年度）		令和2年度計画・ 進捗状況(12月末現在)
	取組内容・実績	課題・問題点	
① 地域における健康危機管理体制の充実強化	鴻巣保健所感染症対策連絡会議「オリパラ開催年度における感染症対策について」を予定。 ①管内医療機関（2/27） ②管内市町村（3/3） 新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる。	・新型コロナウイルス感染症対策の実践を通して関係機関との連携体制を構築する。	・新型コロナウイルス感染症対応継続中。患者発生数720人 ・新型コロナウイルス感染症収束後、鴻巣保健所感染症対策連絡会議の開催を検討。
② 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備	・県央地域災害保健医療連絡会の開催 5月16日、11月1日	・避難所における感染対策に関する支援。	・県央地域災害保健医療連絡会の開催 11月9日 ・市町村からの随時相談への対応。
③ 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進	HACCP導入施設数 402施設 薬乱防止講習会 24回開催	感染症拡大のため、講習会等が思うように開催できない。	HACCP導入施設数 1,041施設 薬乱防止講習会 6回開催
④ 感染症対策の推進	鴻巣保健所感染症対策連絡会議「オリパラ開催年度における感染症対策について」を予定。 ①管内医療機関（2/27） ②管内市町村（3/3） 新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる。	新型コロナウイルス感染症対策の実践を通して関係機関との連携体制を構築する。	・新型コロナウイルス感染症対応継続中。患者数約720人 ・新型コロナウイルス感染症収束後、鴻巣保健所感染症対策連絡会議の開催を検討。